

中 岳



平成12年度熊本市歯科医師会代議員会
第19回九州八市歯科医師会役員連絡協議会



目

次

巻頭言	副会長 菅原 洋	1
平成12年度熊本市歯科医師会代議員会		2
第2回学術研修会		4
「最新の歯科診療と医院経営法」		
第4回熊本市入院入所者歯科診療運営委員会		6
第19回九州八市歯科医師会役員連絡協議会		10
平成12年度熊本市民健康フェスティバル		12
委員会だより		13
－医療管理：国立熊本病院連絡会－		
Study		14
「次世代にむし歯になりにくい口腔内環境を提供するために」		
－渡辺 猛士－		
委員会紹介	公衆衛生委員会	16
	学術委員会	18
こんにちは、私が支部長です－Part2－		20
新人です よろしくお願ひします		23
スポーツの広場		26
会務報告		27
編集後記		

表紙の写真

金峰山 仁王像

その昔修験者たちが駆けまわっていたという金峰山です。今は通称「さるすべり」からの登山ルートが一般的ですが、少し遠廻りするとこの仁王さんが迎えてくれるコースもあります。鬱蒼とした杉林の中を登って、この日は結局山頂まで誰ともあいませんでした。常連さんもあまり通らない道なのでしょうか。(T.F.)

「世紀末の見直し」



菅原 洋 副会長

初冬の候、会員の皆様には、ご健勝にて、20世紀最後の師走をお迎えのことと存じ上げます。平素より本会の活動に、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

21世紀を目前にして、本会では

- ①熊本市在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業
- ②歯の衛生週間での街頭啓発イベント事業
- ③共済互助の還付方法について

の3点の見直しを行っております。

①については平成3年7月より熊本市民の在宅寝たきり老人等(40才以上)に歯科健診を実施し、医療の谷間にいる市民に医療の機会を与える目的で始めました。今日まで行政・行政現場、協力医の努力、ご協力によりまして、内容実績においても日本有数の評価をいただき、全国から視察、講演依頼が殺到しているのが現状です。

しかしながら、本年4月からの介護保険導入に伴い、平成13年度事業推進の見直しが行政と検討され、“健診”と“医療(治療)”を明確に分離した話し合いが行われており、平成13年度は新しい方針での事業展開をはかるつもりです。

②に関しましては、21世紀の熊本市民の歯科保健推進事業の一環として“むし歯”“歯周病”を“生活習慣病”の一つととらえ、予防的啓発運動により、8020運動への街頭イベントを行政と共催でとり行いたいと考えています。

③本会においても共済互助の中で生前給付を検討しております。

以上3点について執行部において検討、討議中であります。会員の皆様からのご意見を賜りますれば幸いです。

全議案可決 承認さる

社団法人 熊本市歯科医師会 平成12年度代議員会

9月26日(火)午後7時30分県歯会館3階ホールにて平成12年度社団法人熊本市歯科医師会代議員会が行われ全議案可決承認されました。



- 1.点 呼 蔵田 幸一常務理事
- 2.開 会 蔵田 幸一常務理事
- 3.会長挨拶 関 剛一会長

<要旨>

8月26日に本会創立70周年記念行事を行ったところ多数の来賓、会員の出席をいただきました。皆様にお礼を申し上げます。

本年度特記することは、4月からの医療保険抜本改革を期待していたが、2%アップにとどまった。今の世の中をみると厳しい状態がつづいている。この2%アップの殆どは「かかりつけ歯科医初診、再診料」関連となっている。現在「かかりつけ」を算定している診療所は非常に少ないようです。「かかりつけ」を算定することによって、患者に対するインフォームド・コンセントが確立されやすくなると考えています。今後、算定する方向で働きかけていきたい。

又、介護保険についても算定が少ないようで、先生方の理解が今ひとつ浅いのではないかと考えている。医療保険と介護保険が重複したり、きりかわったりしてる部分もあるが、介護保険が医療保険に優先するということです。この介護保険が更に普及するようにこれも働きかけていきたい。

なにはともあれ、本会が70周年を迎えられたことはすばらしいことであります。

これを機会にして21世紀に向けた歯科医師会の在り方を模索しているところであります。

4.議長及び副議長選出

議 長 川 崎 俊明先生
副議長 藤 波 剛先生

5.議事録署名人選出

松本 一之先生(東部2)
寺本 豊徳先生(東部3)

6.報告

- 1)会務報告 古賀 明 専務理事
- 2)庶務報告 蔵田 幸一 常務理事
- 3)会計現況報告 矢毛石 豊 常務理事
- 4)監査報告 宇都宮啓一 監事

7.議事

第1号議案

平成11年度熊本市歯科医師会(一般会計)
歳入歳出決算の承認を求むる件

第2号議案

平成11年度熊本市歯科医師会(収益事業会計)
歳入歳出決算の承認を求むる件

第3号議案

平成11年度熊本市歯科医師共済会計
歳入歳出決算の承認を求むる件

第4号議案

平成11年度熊本市歯科医師会退職積立金会計
歳入歳出決算の承認を求むる件

第5号議案



平成11年度熊本市歯科医師会基本財産積立金会計
歳入歳出決算の承認を求むる件
監査報告

8. 協議

(1) 定款見直しについて

平成11年度の代議員会で見直した「案」を提出したが、更なる見直しが必要とのことだった。今回改めて定款見直し臨時委員会を組織して、見直しをすすめていきたい。

Q: 臨時委員会なので、会長一任でいいのではないか。

A: 前回の轍を踏まないように議案として提出した。委員は執行部一任で決める。

(2) 共済互助生前給付について

共済会計は、平成11年度で1,300万円余が残っている。過去5年間で単年度収入約400万円、支出に関しては平成8年が400万円、他の年度は200万円余で毎年約100～200万円余剰金がある。このまま余剰金を増やしていいのだろうかということで提案した。更に意見をとりまとめて総会にはかりたい。

Q: 70才で区切るより会員在籍年数ではどうか。

A: 終身会員の規定があるのでそれでクリアできるのではないかな。

Q: 余剰金を生前給付より共済会費の値下げにあてたらどうか。

A: 月々100～200円の値下げをするよりまとまった金額を生前給付した方が良く考える。

Q: 共済会費は月1,000円、30年で36万円となるが、給付額はどうか。

A: 生前給付20万、弔慰金30万という形でやりたい。税金面では一時所得となる。

(3) その他

1 歯の衛生週間について

これまで県歯が行っていた「上通り会場」を次年度より市歯がひきつぐ予定である。これまで、上通り会場にかなりの人数が来場し、定着しているのを継続させたい。

Q: 県歯が6、11月と2つ行ってるので1つくらい止めてもいいのでは。

A: 6月は県歯が上通り、市歯が市役所ロビーで行っている。11月は笑顔ヘルシーキャンペーンで啓発事業としての性格がちがう。

Q: 巡回方法として、1年おきに県歯の行事を熊本市で行ってもらえないか。

A: あくまで県歯の予定なので答えられない。

2 その他

Q: 70周年記念行事の中で県歯へ記念品を贈呈したが、なぜか。

A: 今現在県歯の会館に間借りしてる状態、安い家賃で借りている。又、事務局に2名スタッフがいますが、絶対的に人手は不足している。多忙の時は県歯のスタッフの手も借りている。そういうことでお礼の意味も込めて贈った。

Q: 今年8月より年中無休となった医院があるが。

A: 保健所管轄なので会が事前に把握するのは困難。それより支部会等を常時行って情報交換すべき。公取委の問題があるので会としては考えを聞いたり意見を述べることはできないと思う。鹿児島市は平日夜間も輪番で救急当番をやっている。このシステムを例えば各支部で行うことができればとも思うが、更に検討していきたい。

9. 閉会 菅原 洋副会長

最新の歯科診療と医院経営法

講師：吉永 修先生（下益城郡会員）

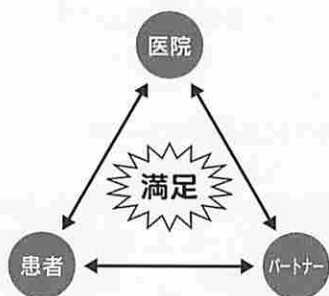
11月14日（火）熊本県歯科医師会館3階ホールにて、熊本市歯科医師会第2回学術研修会が開催されました。今回は、講演会という場ではなかなか話されない、医院経営法について講師の先生の医院のデータや方針、体験談を交えて講演していただきました。



1. 歯科医院の理想

歯科医院にとっての構成要素は、医院⇄患者⇄パートナー（スタッフ）で、三者にとって良いことは、みんなで話し合った上で実行していき、みんなが満足する病院を目指している。（Fig1）

Fig 1



2. 経営分析

経営分析は税理士まかせではなく自分自身で行うべきである。

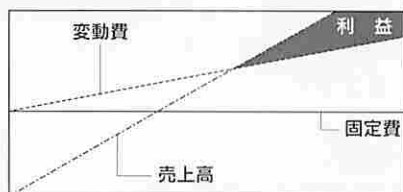
医院にとっての利益は、売上、変動費、固定費により決まる。（Fig2）

$$\text{売上高} = \text{保険診療} + \text{自費診療} + \text{雑収入}$$

$$\text{変動費} = \text{材料費} + \text{外注技工費}$$

$$\text{固定費} = \text{借入金} \cdot \text{人件費} \cdot \text{諸経費}$$

Fig 2 経営分析



つまり、固定費、変動費を抑えることにより損益分岐点が下がる。しかし、歯科においては変動費の割合が小さいため、固定費を下げていくことが利益を上げることにつながる。

3. 利益

利益には次のようなものがある

粗利益、営業利益、経常利益、税引前利益、税引後利益

ここまでは税理士に教えてもらうことができるが、固定費のうちの借入金の元金はこの税引後利益の中から支払わないといけない。そのために、元金返済後の実際に残る利益をわかりやすく把握するために、通帳利益と名付け出してもらっている。

当医院の場合半期ごとの決算を出し、法人の利益がどのくらいなのかを利益の基準としている。

（Fig3）

Fig 3 当医院半期損益計算（率）

単位：％

売上	100
変動費	16
固定費	78
利益	6

4. 利益を増加させるための方法

利益を増加させるための方法として次のことが考えられる

1) 売上高を上げる

売り上げ＝単価×数で単価アップ(自費診療の増加)と患者数アップ(患者数の増加)により実現できる。また、患者数を把握するための指標として、チェアーの回転数、つまりチェアー1台あたり1日何人の患者が占有したかの稼働率と、チェアー1台あたりの月売上を参考にし、チェアー増設などの際の参考にする。

2) 変動経費削減

変動費(原価)とは材料費＋外注技工費だが前記したように変動費は20%を切るため、努力の割に経費の節減効果が少ない。

3) 固定費削減

固定費は現状維持費用と投資費用とに分けられる。現状維持費用は抑えることができるが、投資費用は必要に応じて投資していかなければ、進歩のめざましい現代では遅れをとってしまう。

借入金・・・無借金経営が望ましい

人件費・・・人件費は少なく、給料は多くする

仕事量は人材の質(レベル)×時間で表される。同じ仕事量であれば人材の質を上げ雇用人数を減らし、一人の給料を上げた方が人件費の削減につながる。例えば、10人に20万円の給与を支払う場合200万円かかるが、同じ仕事を8人で行う場合22万円の給与を出しても176万ですむことになる。

5. 人材の育成

人材の育成のためには医院のベクトル(方向性)を揃える必要がある。

当医院の場合は次のように掲げている

企業理念

自らと回りへの貢献

内的目的

明るく楽しくけじめがあり職場の仲間みんなの幸

福をお互い援助しあえる職場を作っていく

外的目的

予知性の高い歯科診療

地域住民の歯科知識を高めていく

歯牙口腔周囲の快適さを追求する

医院の方向性は機会あるごとに繰り返し理解させる必要がある。イタリアの経済学者のV・パレートは“重要な2割が、8割の成果をもたらしている。重要でない8割の部分は2割の成果しかもたらしていない。”という法則がある。医院の方向性を変える場合にもこの法則は当てはまり、2割のパートナーの方向性を決めると、残りの8割の方向性が決まってくる。

もう一つの要因に、人生観と、職業倫理観が上げられる。マズローの欲求五段階説では(Fig4)、第一段階の欲求として生理的欲求、次に安全の欲求、社会的欲求、自我の欲求、最後に自己実現の欲求と、欲求は常に高度化する。

Fig 4 マズローの欲求五段階説



人生観、職業倫理観も給与の為だけに働くのか、衛生士としての誇りを持つために働く、この医院の一員としての誇りのために働く、この医院の中でもトップである誇りを持つために働くのか、と高度化してくるようにする必要がある。

最後に限られた時間の中で、最新の歯科診療のケースを1例紹介され講演会は終了しました。

当日は多数の参加者があり、吉永先生の率直で的確なお話により、得ることの多い講演会となりました。

(学術 小野 秀樹)

第4回熊本市入院入所者歯科診療運営委員会



開催日時：平成12年10月18日(水)午後7時

開催場所：熊本市歯科医師会会議室

出席者：熊本市医師会

河津昌幸副会長、戸山忠良理事
熊本市歯科医師会
菅原 洋副会長、
古賀 明専務理事、
蔵田幸一常務理事、
斉藤修身厚生担当理事、
瀬井知己委員

(次第)

- | | |
|---------|-------------------|
| 1 開会 | 古賀専務 |
| 2 挨拶 | 菅原副会長、河津副会長 |
| 3 出席者紹介 | 古賀専務 |
| 4 議長選出 | 菅原副会長 |
| 5 報告 | 瀬井委員 |
| 6 協議 | |
| | ①1年間を振り返っての反省及び要望 |
| | ②その他 |
| 7 閉会 | |

(1) 平成8年、9年、10年、11年実施状況

	平成11年	平成10年	平成9年	平成8年
年間総件数	291件	487件	183件	171件
1ヶ月平均件数	24.3件	40.5件	15.3件	14.3件
年間往診回数	707回	1,225回	501回	484回
1ヶ月平均往診回数	58.9回	102回	41.8回	40.3回
一人当りの平均往診回数(1件)	2.4回	2.5回	2.7回	2.8回
処置回数総計	362回	601回	394回	373回
義歯関係	273回(75.4%)	402回(66.8%)	324回(82.2%)	225回(60.3%)

往診回数は延回数である。

平成11年の総件数は、前年よりも200件近く減少しているが、ポータブルの診療機械の貸し出し状況は昨年なみであるので、報告書の未提出が、かなりあったものと思われる。その理由として、1患者に対して2通の報告書を提出するという現在の様式が繁雑であることがあげられる。もっと簡単な書式の報告書のヒナ型を作成中である。

(2)入院に至った理由(重複)

	男性	女性	計
① 脳血管傷害	30	58	88
② 感染症	10	1	11
③ 心臓疾患	12	23	35
④ 整形外科疾患	26	50	76
⑤ 腎疾患	4	12	16
⑥ 高血圧	9	12	21
⑦ 悪性新生物	2	6	8
⑧ 大脳疾患	20	38	58
⑨ 呼吸器疾患	20	13	33
⑩ 内分泌疾患	8	13	21
⑪ 消化器疾患	5	1	6
⑫ 老衰	1	0	1
⑬ その他※	3	2	5

※(貧血、低タンパク血症、低アルブミン血症、高K血症、過換気症候群、シャイドレーガー症候群)

平成11年度の受診者は、脳血管障害が一番多く(全体の38.5%)、整形外科疾患(同20%)、大脳疾患(同15.3%)と続いている。

(4)年齢別依頼状況

	男性	女性	計
15～19歳	0	2	2
20～24歳	0	0	0
25～29歳	0	0	0
30～34歳	0	0	0
35～39歳	0	0	0
40～44歳	0	0	0
45～49歳	1	0	1
50～54歳	2	1	3
55～59歳	3	0	3
60～64歳	0	0	0
65～69歳	22	7	29
70～74歳	12	11	23
75～79歳	14	37	51
80～84歳	13	42	55
85～89歳	22	42	64
90～94歳	14	31	45
95～99歳	0	4	4
100歳以上	0	0	0
総計	103	177	280

(3)主訴別依頼状況(重複)

	男性	女性	計
① 義歯不適	40	85	125
② 義歯修理	12	25	37
③ 義歯新製	23	37	60
④ 歯痛	6	3	9
⑤ 歯牙脱落	0	1	1
⑥ 歯牙破折	2	5	7
⑦ 歯牙欠損	0	0	0
⑧ 歯牙動揺	4	5	9
⑨ 歯冠修復物、充填物脱離、破損	5	7	12
⑩ 歯肉痛(腫脹)	3	9	12
⑪ 歯肉出血	2	0	2
⑫ 口唇裂傷	0	0	0
⑬ 舌・口腔粘膜疼痛	0	0	0
⑭ 咬合痛	1	3	4
⑮ 咀嚼不全	0	0	0
⑯ 顎関節痛	0	0	0
⑰ その他※	2	0	2

※(顎関節脱臼、顎骨々折、口臭)

歯科疾患は、殆ど義歯関係であり、不適、修理、新製で全体の79.2%を占めている。

年齢区分では65～94歳の方で、95.4%を占めている。

(5) 月別状況

	件数	往診回数	治療内容							衛生士訪問指導回数
			義歯	義歯調整	保存	歯冠修復	歯周治療	外科	その他	
1月	34	77	15	14	3	1	3	3	3	58
2月	19	48	14	7	1	0	0	0	1	22
3月	29	77	17	15	0	0	1	1	1	13
4月	23	56	14	7	0	1	2	1	0	14
5月	25	57	13	9	1	0	2	3	1	19
6月	20	52	14	9	1	1	3	2	1	23
7月	18	43	12	3	0	0	2	2	1	14
8月	23	67	11	7	2	0	1	1	2	25
9月	19	40	13	7	0	0	3	0	0	23
10月	32	60	22	11	2	2	8	3	1	40
11月	18	47	7	5	1	1	3	2	1	26
12月	31	83	21	6	2	1	11	0	0	59
計	291	707	173	100	13	7	39	18	12	336

○活動内容は、殆ど義歯関係で全体の75.4%を占めている。

○外科的処置は、医師会の主治医の先生と連絡をとって行っており、18件中、1件の事故も起きていない。

○衛生士訪問指導回数の往診回数に占める割合は47.5%である。2回に1回は口腔ケアを行っており、誤嚥性肺炎の発病防止に役立っているものと考ええる。

(6) 協議事項

①1年間を振り返っての反省及び要望

熊本市歯科医師会会員からの報告書の提出が少ないのではないか？

提出しやすいような簡単な書式の報告書に改めるようにする。

②入院入所者の口腔ケアについて

訪問歯科診療が終了した後、歯科医師、衛生士の手を離れてからの口腔ケアをいかに行っていくかが、今後の課題である。

③訪問歯科医師の交通費について

「交通費の徴収はどうしているのか？」という質問があり、歯科医師会会員にアンケートをとり来年の運営委員会でお答えしたい。

④熊本市医師会の会報、週報等に随時投稿し、この事業の充実をはかるために、医師会会員の先生方に活動状況を知らせていく。

(厚生 瀬井 知己)

第19回九州八市歯科医師会役員連絡協議会

第19回九州八市歯科医師会役員連絡協議会が10月20日(金)午後4時より福岡市歯科医師会主催で行われた。本年は各市とも6役員の顔ぶれが入れ替わり、出席者名簿は次の通りである。

第19回九州八市歯科医師会役員連絡協議会出席者名簿

会 名	会 長	専 務 理 事
大 分 市 歯 科 医 師 会	河 野 尚 俊	菅 野 孝 一
佐 賀 市 歯 科 医 師 会	下 平 格	福 成 義 久
長 崎 市 歯 科 医 師 会	道 津 剛 佑	角 町 正 勝
熊 本 市 歯 科 医 師 会	関 剛 一	古 賀 明
鹿 児 島 市 歯 科 医 師 会	森 原 久 樹	下 田 平 幸 一
宮 崎 市 郡 東 諸 県 郡 歯 科 医 師 会	相 馬 博	川 野 俊 吉
南 部 地 区 歯 科 医 師 会	山 川 修	護 得 久 朝 保
福 岡 市 歯 科 医 師 会	秋 山 治 夫	永 田 正 典

又本年の協議議題も4月よりの点数改正、介護保険導入後の各市の対応状況が中心に討議され、提出された協議議題は下記の如くである。

第19回九州八市歯科医師会役員連絡協議会提出協議議題一覧表

会 名	協 議 題
大分市歯科医師会	提出協議議題無し
佐賀市歯科医師会	介護保険に当たっての各歯科医師会の対応について (理由) 現在、訪問歯科推進センターの設立や介護支援サービスの啓蒙普及の為のポスター・パンフレットの作成及び口腔ケア等の体系づけられたセミナーの実施を致しておりますが、各歯科医師会ではどのような対応をなされているか御教示頂きたい。
長崎市歯科医師会	(1) 歯科医療環境改善にむけた基盤整備に関する具体的活動について ①: 会員の医療経営の実態調査に関する作業 ②: 歯科医院経営の合理化に関する研究 (2) 介護保険への対応について

会 名	協 議 題
熊本市歯科医師会	各市よりの提出議題による協議会が現在行われておりますが、担当市が出題する議題(1～2題)による協議会では如何でしょうか 理由 ・ 協議題が多いと時間的に制約され十分な討議が出来ない為 ・ 現在までに色々な議題が提出され十分に討議されている為
鹿児島市歯科医師会	診療時間について ・ 現在、鹿児島市歯科医師会へ入会するとき、診療時間は近隣の歯科医院の開業時間に、(大体9:00～19:00)あわすように指導して入会してもらっているのですが、最近夜遅くまで(20:00～21:00)診療時間を延長したり、日曜日でも診療する会員が増えてきております。このような場合、会としてどのように対応していますか。
宮崎市郡東諸県郡歯科医師会	「かかりつけ歯科医」の実施状況及び普及策について
南部地区歯科医師会	スポーツ歯科の推進に対する取り組み方について
福岡市歯科医師会	提出協議題無し

まず介護保険導入後の対応としては、各市とも在宅訪問診療をこれまで以上に推進させその後の口腔ケアを積極的に取り組む事で充分対応できていると考えている。ただしケアマネジャーとのコンタクトを常に心がける必要がある。

次に診療時間については各市とも会としての対応はしていないのが現状で、時間の規制は無しというのが各市の意見であった。

それから「かかりつけ歯科医」については各市とも届出は80%前後行っているが、実施状況は各市とも県単位でしか把握しておらず、福岡県が最も多く19%で、その他は5%前後の実施状況である為に会員に今後どのように指導していくかが課題である。

本年度も各市からの活発な意見・質問が上がり2時間の協議時間もまたたく間に過ぎ、この後の意見交換は市内が一望できる料亭観山荘に場所を移し、懇親会の席で酒を酌み交わしながらの九州八市歯科医師会役員連絡協議会となった。

(古賀 明)

過去最高の8020達成者数

平成12年度熊本市市民健康フェスティバル開催

去る10月14日(土)、15日(日)の両日、熊本市と医専連等の主催による平成12年度熊本市市民健康フェスティバルが熊本市総合体育館で開催されました。

14日午前9時30分より開会式が始まり、実行委員長の三角保之熊本市長(代読)による開会宣言の後、

来賓の方々の挨拶、祝辞と続きました。その後、関剛一会長らによるテープカットが行われ開場とともにどのコーナーも、開会式前より詰めかけていた人々でにぎわいをみせていました。

今年度のテーマは「これからの健康、21世紀に向かって」と題し、サブテーマを「心すくすく、からだスルスク」という、時代を反映したもので、何かと物騒な事の起こる昨今、「健全な精神は健全な肉体に宿る」という言葉を改めて実感させられるサブテーマでした。



長蛇の列ができ、歯科への関心の高さが感じられた

今回も様々なコーナーが設けられ、リハビリや在宅ケアのコーナー、その他健康相談や検診コーナーなどが目白押しで、とりわけ介護保険のコーナーは、今年4月からスタートしたという事もあって多くの市民が訪れ、関心の高さをうかがい知ることができました。



詰めかけた多くの人々の見守る中、開場

歯科コーナーは毎年出入口に近い事もあってか、訪れる人も多いのですが、今年は特に多く、午前中には長蛇の列ができるほどで、参加した先生方は、昼食をとる時間もやっというぐらいいました。歯科相談が2日間で339名、歯科衛生士会の歯ブラシコーナー

に406名、技工士会のコーナーに500名と盛況で、歯科の相談内容としては、心配や苦情や自慢など様々な意見が聞かれ、特に今行っている治療に対する不安や理解度の未熟さなどが多い様にみうけられ、改めて我々歯科医師による診療に関しての説明の重要性と患者自身が聞きたい事を聞きにくい環境を作っているのではないかと痛感させられました。

また「8020は達成できますか?」と尋ねてくるお年寄りも多く、8020への関心の高さも年々増している様に思いました。

翌15日には本年度8020達成者の表彰式が行われ42名の方が関会長より表彰を受けられましたが、この人数も過去最高で、熊本市歯科医師会会員の先生方のご協力のたまものと思いました。

歯科以外のコーナーも非常に充実しており、体に関する様々な相談コーナーの他に検査コーナーも本格的で、多くの市民が詰めかけ、我々にとっても参考になることが多い充実した2日間でした。

また15日午後4時30分からは閉会式が行われ、関会長の万歳三唱にてフェスティバルは成功裏の内に閉会したことを報告します。

(公衆衛生 齊藤 忠継)

「次世代にむし歯になりにくい口腔内環境を提供するために」

渡 辺 猛 士

毎日の診療の中でむし歯になりやすい人と、なりにくい人がいることはみなさんもお気づきのことだと思います。それではいったい何がそれらを決定しているのでしょうか、最近ではかなりのことが解明されているようです。そこで今回はむし歯になりにくい口腔内環境を作るにはどうすればよいかについて少し調べてみました。

むし歯になる原因には、歯の質(耐酸性、表面荒さなど)、むし歯の原因になる細菌の存在、およびむし歯菌の餌になる食物の取り方とその清掃状態という、3つの要素が絡んでいる。その上で、むし歯のかかり方は人によって異なるわけで、そのことはこれら3つの条件の組合せに、個体差があることを意味している。個体差は先天的要因であるところの遺伝要因と後天的要因であるところの環境要因この2つということになるであろう。歯の形態や構造あるいは唾液の性状などは、父親も母親もほぼ同程度に子供との間に遺伝的類似性が存在するわけであるが、血縁関係とむし歯のでき方とのかかわりを調べた研究によれば、一卵性双生児のように遺伝的組合せが一致する場合にはむし歯のでき方もよく一致しており、親子や兄弟では半分程度類似し、夫婦ではほとんど似ていない。つまり血縁関係が近縁であるほど、むし歯のでき方がよく似ており、遺伝要因の関与が強く示されている。

このことを、両親と子供との間で比較してみると、母親と子供の組合せの方が、父親と子供のあいだよりも、よく似る傾向にある。幼児の口腔内にミュータンス菌が侵入する径路として、家族内の伝播性をもっとも考えられるわけであるが、なかでも母親と子供の間で菌数やミュータンス菌の血清型に高い類似性が認められるところから、母親から子供への伝播の可能性が強く示されている。子供を養育する役目柄、母親の

方が子供と接触する頻度が高く、むし歯原因菌の伝播が起こりやすいといわれている。ケーラーらは、このような点に着目して、母親に十分な口腔衛生指導を行なうことにより、それが子供にどう影響していくかについての調査を行なっている。まず、第1子が生後3ヶ月から8ヶ月の母親について、唾液中のミュータンス菌および乳酸菌の菌数をカウントし、ミュータンス菌が10の6乗c.f.u./p以上の者を選別した。これらの母親を適当に2群に分け、一方の群に対しては、研究の目的を説明した上で、①食事指導、②専門家による口腔清掃、③口腔衛生指導、④フッ素塗布、⑤大きなむし歯の処置などを実施し、これを実験群とした。また他方の群はそのままとし、これを対照群とした。両群の母親と子供を4ヶ月毎に診査し、唾液中のミュータンス菌と乳酸菌の菌数を評価した。この実験により、24ヶ月後、つまり子供が3歳になった時点には、実験群の母親に明らかなミュータンス菌の減少が確認され、60%の母親では開始期の3分の1になっていた。次に、母親のミュータンス菌を低下させることにより、その子供の口腔へのこれらの菌の定着を、予防、もしくは遅らせることができるのかを調査された。子供のミュータンス菌発見率は、年齢が増すごとに増加するのであるが、とくに対照群でその傾向が強いのにに対して、実験群では発見率が著しく低いことがわかった。とくに、母親のミュータンス菌が著しく低下した場合に、その子供のミュータンス菌の発見率は有意に低いことが明らかになった。このことから、母親において口腔衛生指導を実施しその効果をあげることに、子供への菌の定着を阻止もしくは遅らせることが出来ることが確認されたわけである。

さらに最近の研究で、ミュータンスレンサ球

菌の主な感染時期は生後19-31ヶ月までの1年間であることが明らかにされている。そこで、母親の口腔で増殖しているミュータンスレンサ球菌の菌量を約1年間の清掃管理で減少させることができれば、母親から子どもへの感染を防ぐことができるはずである。母親の口腔内からミュータンスレンサ球菌をすべて排除することは不可能だとしても、唾液中の菌量を低下させることは比較的容易にできる。ミュータンスレンサ球菌は唾液中の菌量が10の3乗個/ml以下では感染しないので、母親になった者に対して、徹底した口腔衛生指導と適切な専門家による清掃 (professional tooth cleaning) や今はやり

の3DS (マウスピースによる薬剤塗布) を行うことが次世代に良好な口腔環境を提供することの一助になるものと思われる。

参考文献:

Quintessence vol. 5.12 / 1986-2010-2011
子供の齲蝕と母親の影響 中田 稔
(Archives of Oral Biology vol. 29. 11)

Quintessence Year Book 2000 p19-23
ーバイオフィルムを作らせない口腔内環境
管理システムについて
Khairul Matin / 花田信弘



(口腔内環境改善の一例)

委員会紹介

公衆衛生委員会



熊本市歯科医師会においては「受診率アップ」を目標に各事業を展開しておりますが、その中でも公衆衛生委員会は重要な委員会ですので、一層身をひきしめて頑張りたいと思っております。（与儀 実彦理事）

- ①氏名
- ②開業場所
- ③家族構成
- ④最近感動したこと・憤慨したこと
- ⑤委員会に所属しての感想
- ⑥趣味



- ①与儀 実彦理事
- ②熊本市帯山4丁目29-3 東部3
- ③直美(妻)・宗徳(長男)・真由佳(長女)・沙仁扇(二女)・日呂扇(三女)
- ④ゴルフを始めて20年位になりますが、全然上手になりません。
- ⑤私はこの委員会に所属して10年目になりますが、市民に対する歯科医療の啓発の為の窓口として重要な委員会である事を実感しております。
- ⑥ゴルフ。



- ①笹原慎一郎委員長
- ②熊本市高平3丁目13-26 シミズ歯科医院 北部1
- ③妻・長男(中2)・二男(小6)
- ④自分の子供達が、いじめといわれる世界に存在するこのごろ。本当にあるんだあ〜。
- ⑤この委員会は何かと一般の方との接触が多いので、いろいろな意見が自分の診療に役立っています。
- ⑥クラシックカーいじり、感動と出会える自転車の旅、他。



- ①斉藤 忠継副委員長
- ②熊本市中央街3-3 医療法人斉藤会 斉藤病院歯科 中央
- ③敦子(妻)・詩織(長女/6才)・瑞織(二女/4才)・節織(三女/4才) 雅織(四女/2才)
- ④シドニーオリンピックでの女子水泳陣の明るさと柔道の判定に対する日本の押しの弱さ。
- ⑤委員会に所属して10年目になりますが、歯科医師会が対外的に行っている仕事、及びそれによる世の中への貢献が少しわかってきた気がします。
- ⑥上達しないゴルフ。



①原田 教二委員

②熊本市渡鹿6-8-26 東部1

③敏恵(妻)・健太郎(長男)・剛士(二男)・奈央(長女)

④長男がバスケットボールの試合で、シュートを決める姿を見て感動しました。

⑤委員会に所属して10年になりますが、今考えると莫然と過ごしたような気がしています。新たな気持で頑張ろうと考えています。

⑥ゴルフ。



①山部耕一郎委員

②熊本市上通町4-18 第3井上ビル3階 やまべ矯正歯科クリニック 中央

③智世子(妻)・悠貴(長男/小1)・倫瑠(二男/1才)

④感動したこと 二男の倫瑠(みちる)が最近立てるようになりました。

憤慨したこと あまりありません

⑤現在3期目です。みなさんの足をひっぱりながら、なんとかついていっております。

⑥オーディオ・ホームシアター。



①杉野 弘武委員

②熊本市出仲間7丁目1-36 南部

③妻・長女(高1)・二男(小6)

④最近子供がねこをひろってきて、自分が子供のころ以来動物とあそんで新鮮な感じがしました。

⑤いろんな視点で患者さんと接することができて、ひじょうにためになった。

⑥絵。



①川口 孝委員

②熊本市帯山8-6-41 東部3

③妻・長女(4才)・二女(2才)

④感動したことは、オリンピックでの田村選手、高橋選手の活躍。

憤慨したことは、ユニットのエンジンが焼きついて、10万も修理代がかかったこと。

⑤わからないことばかりなので、先輩方にお教え頂いて活動していきたいと思っています。

⑥読書、ドライブ、パソコン。



①二宮 康郎委員

②熊本市帯山2-12-24 東部3

③独身

④日本シリーズ

⑤勉強させていただいています。

⑥釣り、飲酒。

委員会紹介

学術委員会



- ①氏名
- ②開業場所
- ③家族構成
- ④最近感動したこと・憤慨したこと
- ⑤委員会に所属しての感想
- ⑥趣味



①清村 正弥理事

②熊本市九品寺6丁目1-10 東部1

③くみ子(妻/38才)、託摩(長男/3才)

④教育システムが国全体で機能不全に陥っている日本ですが、先日来熊した英国のイートン校チャペルクワイヤーの子供達と引率の先生の指導と、しかられた子供の素直に反省する姿を見て、昔の日本では当たり前だった光景をすばらしいものと感じてしまう今の自分に感動とあせりを覚えました。

⑤個性豊かであつ優秀な先生が多く頼もしく思っております。

⑥神社めぐり。それと週2～3回の近場のスーパー銭湯と温泉めぐり。



①渡辺 猛士委員長

②熊本市若葉1-36-18 東部4

③洋子(母)・幸栄(妻)・圭祐(息子/2歳)

④長野県知事の名刺折り曲げ事件には大変な国民の反応があつた。しかし、森首相の内閣不信任案は否決された。いったい民意が届くようになるにはあと何年かかるんでしょうか。

⑤なんだかんだではや3期目を迎えました。番頭役として体力仕事を中心にお手伝いして行きたいと思っています。

⑥アウトドア全般、食い道楽。



①山部 英則副委員長

②熊本市大江1-11-20 東部1

③治子(妻)・陽平(長男/小5)・達也(二男/小2)・友理香(長女/1歳)

④最近感動したこと:ペンシルベニア大学のDr. Herry Salamaの講演を聴いて
ぶっ飛びました。

最近憤慨したこと:朝から晩までほとんど休みなく働いて12,000点だった時
とか、小さなことから大きなことまで毎日憤慨してます。

⑤皆さん勉強家ばかりですが、楽しい委員会です。

⑥海釣り、ドライブ、音楽鑑賞、ゴルフ、絵画収集。



①高松 尚史委員

②熊本市水道町8-4 中央

③みどり(妻)・里帆(長女)・風果(二女)・拓海(長男)・悠馬(二男)

④やわらちゃんの8年越しのオリンピック金メダル。よく、気持ちが続いたなーと
ただ感心。

⑤今年度もいろいろ勉強しながら、お手伝いができれば幸いです。

⑥テニス、勉強。



①坂口 貴章委員

②熊本市月出2-1-39 東部3

③加奈子(妻)・貴咲(長女/7才/小2)・貴紀(二女/5才/年中)

④SJCD International 1st Congressに出席し、その臨床レベルの高さに感動
しました。

⑤理事をはじめ気心の知れた先生方に囲まれて楽しく活動させて頂いています。

⑥仕事、テニス、子供達と遊ぶこと。



①牛島 隆委員

②熊本市健軍4-14-10 東部4

③妻(31)、長男(5)、二男(2)、三男(0)

④淡々と過ごしているのであまり感動したり怒ったりしない。

⑤2期目になりますが皆さんに引っ張られながらなんとかついていっています。

⑥趣味をもつ時間がない。



①小野 秀樹委員

②熊本市御領4丁目3-16 東部3

③文子(妻)・草太(長男)・日向子(長女)

④斜陽してきている日本の現状を見ても何もできない政府と自分。

⑤学術的な才能はないが何かお手伝いできればと思っています。

⑥テニス、スキー(スノーボード)、料理、キャンプ。

委員会だより

第九回国立熊本病院 開放型連絡会開催さる

平成12年度では第一回となる開放型連絡会が8月24日(木)国際交流会館にて開催されました。今年で5年目を迎えて登録医数は医科歯科合わせて8月現在659名になるそうです。今回は、医科81名歯科19名院内職員104名の参加者がありました。

まず開放型病院の利用の実際を、ある登録医の方をモデルにして収録したビデオが放映されました。割と流れを捕らえていて、参考になると思います。次に本会会員の沢木孝明先生より、患者を紹介したが手術日の予定が分らず、共同診療ができなくて残念である主旨の発表がありました。国立熊本病院の開放型連絡会に何度か参

加しておりますが、「歯科もどんどん参加して下さい」と毎回宮崎院長はじめ病院のスタッフからも熱意が感じ取れる話を耳にしております。その一つとして救急蘇生法の講習会を開催し病診連携をより高めようとしてここ数年積極的に活動されております。歯科ではなかなか共同診療の機会が少ないと思います。しかしそういう機会がある時は、利用される事をお勧めします。患者を紹介した日にもすぐ登録医になれるそうです。医科との交流も出来ますし、CTやMRIなどの機器が利用できます。これから利用して参りますと何か問題が起きてくる事も想像されます。それを乗り越えてより患者が安心して来院できる歯科医院を目指したいと思いました。

(医療管理 尾上 宏)

コーヒープレイク

山歩きのすすめ

熊本市西部には、ちょっとした山歩きに適した山がたくさんあります。

例えば金峰山、二ノ岳、三ノ岳、小萩山。もっと街に近いところでは花岡山、万日山に独鈷山など。後者の3山では近在の保育園、小、中学校の強歩会、トレーニングなどがよく行われています。私も地区の運動会などで独鈷山一周を年2回走ります。敬愛する尊師O先生が参加する西山クロカンやら三角半島縦断レースなどは鉄人ならぬ狂人の世界とただあきれながめるばかりですが、独鈷山一周約1.5kmはゆるやかなコースでありながら、シロートにもクロスカントリー気分を味わえる手軽なコースだと思います。ただ某石材がハゲ山にしてコンクリで固めてしまったのがなんともアワレでなりません。小萩山にはチャリで崇城

大学(元工大)まで行ってそこからゆっくり登ります。春のわらび、しめじ、秋のきのこなどタイミングさえよければ摘むこともできます。(雨の後、早朝がねらいめ)

さて金峰山です。熊本に住んでいる方で登ったことのない人はまずいないのではないかと思います。ふつうは「さるすべり」まで車で行き、そこから一気に直登するパターンが多いようです。私は地元池上小をスタートして、池辺寺遺跡で有名な平地区→みかん山→少年自然の家→さるすべり→山頂というコースを冬場はたどります。往復約25km、結構ハードですから平地区まで車で行くこともあります。

山登りの楽しみのひとつに頂上に立った時の爽快感があります。この感じは見晴らしがよいと更に大きくなります。たとえ低山でも見晴らしがいい山というのは人気がありますよね。日頃ミクロの世界をさまよっている先生方も、汗をかいて広大な自然を満喫するというのはいかがでしょう。

●●● こんにちは 私が支部長です ●●●

- Part2 -

市歯科医師会は現在12の支部に分けられています。

(北部1、2、3、西部、南部、小島、川尻、中央、東部1、2、3、4)

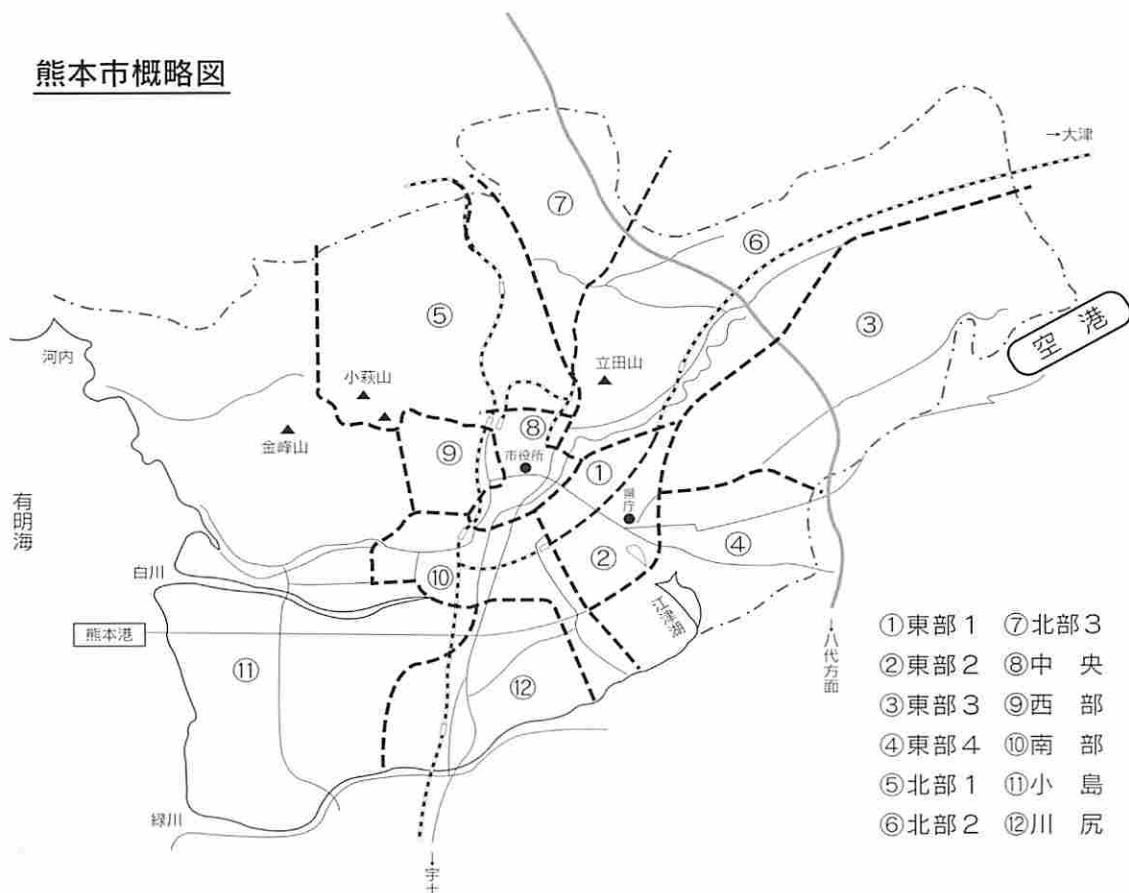
若い会員の先生には支部の分けがどうなっているのか御存知ない方も多しと思います。また先輩の先生には他の支部が何をやっているのか興味のあるところではないかと存じます。そこで今回皆様に各支部の支部長を紹介し、支部活動や支部の特色などを知っていただこうと考えました。さてこの企画、うまくいったかどうか。支部分けについては、概ね下図のようになっています。詳しく知りたい方は、市歯事務局に詳細図がありますのでそちらをご覧ください。

支部の構成人数が30名を越えるところもあり、他の郡市の歯会の人数に互するところも多くなっています。ただ人数が多ければ良いわけでもないのですが、支部会としての自立と自覚をもち、本会活動に今以上に積極的に取り組んでもらえたらと思います。

今回は12支部のうち東部1・2・3・4、中央、西部の6支部の紹介を致します。

北部1、2、3、南部、小島、川尻の各支部については前号を参照下さい。

熊本市概略図



〈アンケート〉

- ①支部の概要・支部会員数、支部長名、経歴など・歴代支部長（敬称略）
- ②厚生事業の有無
- ③支部の特色（雰囲気）
- ④支部で取り組みたいと思っていること（支部長がこうしたいと思っていること）
- ⑤市歯科医師会に対しての要望、希望



藤波 剛支部長
(53歳)
支部長経験年数4年

①東部1支部 支部会員数25

支部長経歴

昭和48年 神奈川歯科大学卒業

昭和50年4月 熊本市大江5-9-4にて開業

前支部長 坂本 憲昭

前々々 浜坂浩一郎

その前 坂梨常太郎

②新年会又は忘年会と支部会

③支部の区域が狭く、各先生の医院がつかみ易いのでまとまり易い。
(ここ10年で入会された先生が急に増えたので益々和が大切になってきた)

④支部会員の声が歯科医師会に常が届くようにしたい。

(未加入医院が4軒ほどあります。入会を促していますが、会のほうでも引き続き未入会者対策を)

⑤現在の歯科医院経営の悪化に対して、会として社保の点数改訂不全、負担率等の問題にとりくんでほしい



宇治 道孝支部長
(59歳)
支部長経験年数12年

①東部2支部 支部会員数32

支部長経歴

市広報委員

市厚生委員

前支部長 堀川 義治

前々々 井手 一之

②新年会 本年2月に行った。

支部旅行 昨年10月前に島原一泊 ゴルフ組・観光組・釣組

③バレーボールを行ってた頃いた会員はままとっているが、新しい会員は連絡係等の協力はしてもらっても新年会以外では参加人員は少ないようです。

④新年会の時皆さんと話した事では各郡市の会員数はいるのだから講演会又は発表会をしようではないか。



大川 智弘支部長
(38歳)
支部長経験年数4年

①東部3支部 支部会員数38

支部長経歴 他人に自慢できるような経歴はありません。

学歴 熊本県立熊本高校卒・九州歯科大卒

前支部長 山村 定信

前々々 奥田 良樹

その前 合沢 康生

②年に1回の新年会

2年に1回の旅行(1泊2日)～旅行先で、釣り・ゴルフetcやっています～

③私が言うのも何ですが、かなりまとまっている支部だと思います。若手から年輩の先生まで結構仲がよく、支部長の私も大変やりやすいです。

④個人的な意見ですが、やはり、近い距離にある歯科医院でするので同じ患者さん(転院して)をみると思います。そんな時、前医とのトラブルetcを患者さんが訴えた時に、その前医に連絡できるようなコミュニケーションのとれる仲間になればと思います。(東3の先生同士が)そうすることで、むだな医療苦情(患者の思い込み)がなくせると思っています。

⑤委員会の開始時刻が診療時間と重ならないよう努力してほしいと思っています。患者さんが第一で歯科医師会は2番目というのが大切ではないでしょうか。



太田 憲生支部長
(52歳)
支部長経験年数7年

①東部4支部 支部会員数34

支部長経歴
S48 神奈川歯科大卒
S52 現地にて開業
前支部長 小田 和人
前々々 千場 敏昭

②忘年会

③患者さんのニーズに応じて夜遅くまで診療されてる先生が多い支部です。

④支部会の先生方の診療時間、それに現在の厳しい状況下では、緊急時の支部会は別として定期的な支部会を計画しても会員の先生方の出席はあまり期待できない。そのため、FAXを活用し支部会員の先生方と密に連絡を取って行きたいと思います。

⑤年に一回くらい若い先生方との意見交換の場を設けてもらいたい。



川崎 俊明支部長
(45歳)
支部長経験年数6年

①中央支部 支部会員数36

支部長経歴
市歯科医師会学術委員会 副委員長
市歯科医師会学術委員会 委員長
前支部長 斉藤 朗
前々々 千場 正昭

②新年会

③中心部の支部であるからか、独自性を持った医院が多く、会員一人、一人がはっきりとした意見を持っている。

④支部連絡網をNet上で構築して連絡の簡素化を計りたい。



中川 順一支部長
(50歳)
支部長経験年数10年

①西部支部 支部会員数19

前支部長 栗原 幸雄
前々々 片山 幹夫
その前 木村 豊

②毎年2月に新年会を兼ねた支部会

数年に一度旅行
(支部長がサボっている為)

③皆さん紳士ばかりなので、支部会等も大人しい感じがします。

④支部の先生方の意見や希望を代議員会などを通して伝えたい。

⑤会長はじめ理事、役員の方々、日頃の会務御苦勞様です。希望としては、もう少し、会員の身近な問題に対する対応をお願いしたい。



新人です!よろしくお願いします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 鳥谷 明広

住 所

(自 宅) 熊本市本荘2丁目3-33 電話/FAX 096-363-1910

(診療所) 熊本市九品寺5丁目7-12 電話/FAX 096-371-2118

生年月日 昭和37年1月29日

趣 味 つり・ドライブ

好きな言葉 努力に勝る天才なし

経 歴 福岡歯科大卒後、熊大歯科口腔外科へ、その後は一般開業医に勤務し平成9年に現在地へ開業致しました。

家 族 妻



氏 名 京極 和彦

住 所

(自 宅) 熊本市本荘町757-11 電話/FAX 096-373-9093

(診療所) 熊本市出仲間1丁目3-1
クリニックパーク 電話/FAX 096-334-6050

生年月日 昭和40年11月20日

趣 味 食べる事

好きな言葉 一期一会

経 歴 平成5年3月 福岡歯科大学卒業
平成11年3月 同大学大学院修了
平成11年6月 日本矯正歯科学会認定医取得
平成12年12月 きょうごく矯正歯科・小児歯科
クリニック開院

家 族 妻 絵美(31才)小児歯科医師

長女 はづき(2才)



スポーツの広場



空港デンタル会

平成12年11月3日
ダブルリペア方式

19名

	O	I	G	H	N
優勝 松本 光 示	40	40	80	9.6	70.4
2位 中島 義 和	43	41	84	12.0	72.0
3位 甲斐 利 博	43	43	86	13.2	72.8
4位 三 筈 司	43	43	86	13.2	72.8
5位 渡 辺 洋	43	48	91	18.0	73.0
B.B 内 田 隆	51	41	92	10.8	81.2

熊本デンタル

平成12年8月20日 高森ゴルフクラブ 16名

	O	I	G	H	N
優勝 元 島 博 信	43	39	82	13	69
2位 松本 光 示	37	37	74	4	70
3位 渡 辺 博	40	38	78	8	70
4位 川 崎 俊 明	42	39	81	11	70
5位 中 川 順 一	43	38	81	10	71
B.B 稲 葉 逸 郎	42	44	86	5	81

トーナンデンタルゴルフ会

平成12年7月20日

13名

	O	I	G	H	N
優勝 井 口 泰 治	45	40	85	14	71
2位 奈 良 健 一	45	40	85	12	73
3位 河 野 敬 明	42	46	88	13	75
4位 合 沢 康 生	44	43	87	12	75
5位 内 田 隆	42	46	88	11	77
B.B 寺 島 美 史	56	60	116	30	86

平成12年9月24日 空港カントリー 15名

	O	I	G	H	N
優勝 渡 辺 賢 治	42	38	80	9	71
2位 工 藤 隆 弘	44	44	88	14	74
3位 大 嶋 健 一	44	42	86	11	75
4位 坂 梨 常 太 郎	45	45	90	15	75
5位 三 筈 司	45	38	83	8	75

平成12年8月13日

12名

	O	I	G	H	N
優勝 宮 崎 幸 一	41	41	82	17	65
2位 合 沢 康 生	41	40	81	12	69
3位 奈 良 健 一	38	45	83	12	71
4位 井 口 泰 治	37	48	85	13	72
5位 寺 島 美 史	50	52	102	30	72
B.B 河 野 敬 明	48	45	93	13	80

平成12年10月14日 空港カントリー 16名

	O	I	G	H	N
優勝 西 野 隆 一	46	43	89	20	69
2位 渡 辺 洋	46	44	90	16	74
3位 坂 梨 常 太 郎	44	47	91	15	76
4位 工 藤 隆 弘	44	46	90	14	76
5位 千 場 敏 昭	46	43	89	13	76

平成12年9月24日

9名

	O	I	G	H	N
優勝 木 村 洋	45	40	85	18	67
2位 内 田 隆	39	44	83	12	71
3位 河 合 隆 一	43	41	84	11	73
4位 坂 井 満	40	48	88	14	74
5位 古 賀 明	42	48	90	12	78
B.B 森 一	50	44	94	14	80

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
9月19日	143回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)
10月24日	144回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)
11月21日	145回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
9月11日	中岳第110号第1回編集
9月28日	中岳第110号第1回校正・かわら版10月号編集
10月 4日	中岳第110号第2回校正
10月11日	中岳第110号第3回校正
10月31日	かわら版11月号編集

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
8月17日	介護給付費請求書および明細書の記載例の作成
9月 4日	診療録記載における注意事項の検討 返戻・査定の多い事例の検討
10月19日	「かかりつけ歯科医初診料」お知らせについての検討 保険請求時の留意点について
11月17日	保険給付・保険給付外の区別についての注意点検討

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
9月25日	今年度後半の学術研修会及び学術講演会
10月26日	第2回学術研修会について 第2回学術講演会について 日歯生涯研修ビデオの内容・Ppt化について

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
9月12日	歯みがき巡回指導の学校決定 熊本市エイズ総合対策推進会議について 企業検診 三歯会の件 DH会より巡回指導の講習会
10月27日	平成12年度歯磨き巡回指導打合せ
11月 2日	平成12年度歯磨き巡回指導打合せ 健康フェスティバル報告 親子・ぜんそく教室報告

公衆衛生委員会

月 日	協 議 題
9月21日	市立幼稚園フッ素塗布反省 健康フェスティバル出務の件 シティFM出務の件
10月19日	健康フェスティバル反省 シティFM出務の件 健康講座出務の件
11月16日	健康フェスティバル反省 フッ素塗布の件 パールラインマラソン出務の件 口腔保健センター出務の件

厚生委員会

月 日	協 議 題
9月12日	入院入所者の集計 70周年記念式典の反省会
10月13日	高齢者会員のアンケートについて 新年の市歯会パーティーのお知らせについて
11月16日	平成11年入院入所者実績報告について 平成12年新年パーティーについて 高齢会員アンケートについて

医療管理委員会

月 日	協 議 題
9月12日	入院入所者の集計
10月11日	救急患者処置の見学研修 院内掲示ポスターについて
11月10日	救急蘇生法講習会
11月16日	労務講習会について 救急蘇生法講習会の反省

定款見直し委員会

月 日	協 議 題
10月25日	委員長選出 現行の定款・定款施行規則のチェック

70周年記念事業委員会

月 日	協 議 題
10月20日	70周年記念特別号編集会議
10月31日	70周年記念特別号編集会議

～協同組合だより～

協同組合では下記のようにレセプト・カルテの他医院事務用品並びに各種商品を取り扱っていますので是非ご利用ください。

レセプト・カルテ・医院事務用品印刷販売のご案内

商 品 名	販売価格
(レセプト)	
コンピュータ用 100枚	450
手書き用(一般・50/100・老人) 100枚	300
単票 100枚	300
(カルテ)	
社保(本人)1・2号様式	250
社保(家族) ♪	250
国保 ♪	250
(経理・検査諸書類)	
領収書 50枚	200
収支日計表 100枚	500
患者日計表 100枚	500
歯科経理帳 30枚	840
歯科予診録 100枚	330
歯周精密検査表 50組	650
歯科衛生士業務記録 50枚	170
紹介状 100枚	550
補綴物維持管理情報提供用紙 1,000枚	1,500

その他の商品

パイプ/500円、アガリクス茸/16,000円、アクアドクターUF/19,800円、機能水生成装置/444,000円・リース可
 クリアベール/25,250円・36,750円・54,000円、リラックス/10,500円、エネルギーTシャツ/3,900円
 浄水生成装置/550,000円・リース可、ダイエットスリッパ/3,400円、プロボリス/24,000円/蛍光ランプ/11,000円
 カニバック/α 6,000円・88 α 9,000円・90 α 10,000円/高性能空気清浄機/月額リース18,500円
 フットマッサージャー/55,000円、オー・ナチュラル1,200円・15,000円、/バイオ式ゴミ処理機49,800円

上記商品のご用命及びお問い合わせは協同組合事務局(TEL343-6400)まで

技術と信頼がテーマです



DENTAL LABORATORY AISHI

株式
会社 愛 歯

〒860 熊本市大塚4丁目2番42号
Phone. 096-343-5839 Fax. 096-343-5105

編集後記

いろいろと騒がれた2000年も無事終わろうとしています。バスジャック事件、金属バットで後輩を殴り親を殺害し逃走した野球少年の事件など、犯人は「17歳」高校生という事件が多くありました。私事です。長男と二男が同年代のため特にこれらの事件には関心があり複雑な思いがあったのですが、そういう時、息子の高校の運動会に行ってみたところ、運動会は応援団の演技などすばらしく、大変感動的でした。事件を起こす少年のことばかり新聞に載るけれど、今時の高校生も捨てたものではないなと思い、日本の将来に多少希望が持てる気がしました。

さて、2001年から新しい世紀に入りますが、歯科界にとって、いや、日本全体にとって必ずしも明るい21世紀になるとは思われません。老人保健の患者負担金額増はどの程度影響があるのでしょうか。景気の動向はどうでしょうか。いろいろ考えると頭が痛くなることばかりですが、考えてばかりいても事は進みません。毎日来てくれる患者さん一人ひとりにベストな状態で診療すること、研鑽に励むこと、歯科医師会の仲間と協力し合うこと、ひとつひとつコツコツと努力することが大事だと思います。そのためのパイプ役として、広報委員会の活動を頑張ろうと思っています。

(T・H)

熊本市歯科医師会会誌

第 111 号

発行日 平成12年12月25日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者 関 剛 一

印刷所 株式会社 ハタノ

熊本市上熊本2丁目1-30

TEL096-356-6433 FAX096-311-1388